

いきいき  
まえばし人



日本陸連「秩父宮章」を受章  
木部 富士雄さん・72歳  
朝倉町一丁目

集中して短時間で効率的な練習を

10月3日、日本陸上競技連盟やその加盟団体に功績のあった人に贈られる「秩父宮章」を受章。  
「関係者の皆さんに感謝します。これが終わりではなく、出発点として今後も頑張っていきたい」  
陸上競技との出会いは高2の時。体育大会で活躍し、陸上競技部にスカウトされ、翌年には3段跳びでインターハイに出場。大学でも競技を続け、卒業後、小中高校の教壇に。  
「部活動の指導の時は、学業と運動をいかに両立させるかがテーマでした。技術的な練習や集団での練習では長時間する場合もありますが、集中して効率的に短時間で練習することが大事なんです。また、つらいことは習慣にする。学校から帰ったら机に向かうとか筋力トレーニング  
は勉強の合間にするとか、習慣化することで苦にならずにできるようにするんです」  
教員時代は国体などにも出場する傍ら、各種大会では審判員として運営に携わった。元旦恒例となっていたニューイヤーマラソンを群馬で初開催した時は総務委員長として活躍。現在は、市陸上競技協会の理事を務める。  
また、物を作るのが好きで趣味は日曜大工。定年後に勤めた県生涯学習センターや群馬会館では自らの力を利用しての腕前。  
「今は健康のために毎日散歩しています。まだまだ頑張っています」  
今後も陸上関係だけにとどまらず、人の役に立つことがあれば何でもやっていきたいと語る目は輝いている。



グー・ズ・ア・ップ



前橋から熱気と元気を発信

前橋まつりを10月10日・11日、中核市移行、富士見村との合併を記念し盛大に開催しました。両日とも好天に恵まれ、みこしやだんべえ踊り、鼓笛吹奏楽パレードなどを実施。中心市街地は祭りを楽しむ多くの人でにぎわい、前橋から熱気と元気を発信した2日間となりました。

秋空に映えるバラを楽しむ

10月17日から敷島公園バラ園で秋のバラフェスタを開催。秋空に映える、気品のあるバラが会場に咲き、苗木や観光物産などの即売、市民コンサート、tonton汁の無料配布などが行われました。また、バラガイドによる園内案内も。多くの家族連れなどがバラの花を楽しみました。



自然の中で自由に冒険

田口町の里山で南橋地区冒険遊び場事業が行われました。これは5月から始まり、カブトムシ捕りや遊び道具作り、料理作りなどを実施。最終日の10月17日は、みんなでうどんを手作りし、おいしく食べました。



いにしえ  
万華鏡  
その八

問い合わせは 文化財保護課 ☎2361-9531

古代の群馬の中心  
総社古墳群

水道局から大渡橋を西へ渡り、JR上越線の陸橋を上って北に目をやると、総社古墳群を望むことができます。

西暦600年ごろは、古墳時代から飛鳥時代へと、日本の歴史が大きく変化しようとする時期でした。権力の象徴である前方後円墳を造り、日本列島を1つにまとめあげてきたヤマト政権。権力が絶大となりつつあったこの時期を境に、前方後円墳は造られなくなり、このころから、日本は律令国家へと変わっていきます。



宝塔山古墳の家型石棺

この時、上毛野(現在の群馬県)も大きな変化の中に巻き込まれていきました。ヤマト政権と強力な関係があった総社古墳群の豪族は、いち早く上毛野の代表として抜き出されました。現在、本県の古墳の中で、7世紀としては破格の大きさを持つのが、この総社古墳群の3つの大型方墳です。7世紀前半に造られたのが愛宕山古墳。1辺は55㍎で、全長9㍎の石室には家型石棺が残されています。続いて7世紀後半に造られたのが国史跡・宝塔山古墳。3基のうち最大規模で、1辺60㍎、高さはなんと14㍎。全長12㍎の石室や家型石棺は石工が精緻を極めた傑作ともいえます。そして7世紀末には国史跡・蛇穴山古墳が造られました。1辺39㍎と規模こそ小さいですが、最近の調査によって見事な2重堀で囲まれていることが判明しました。  
秋晴れのこの季節、群馬の飛鳥ともいえる総社地区に出掛け、古代ロマンにひたってみてください。